



ひっとべ! かがしま国文祭

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]

ひっとべ!
かがしま国文祭
国内最大の文化の祭典「国民文化祭」開催に向け、県内各地においてさまざまな取り組みが進められています。今回は、国文祭をPRする様子についてご紹介します。

かがしま国文祭でお待ちしています!

鹿児島県では、「第30回国民文化祭・かがしま2015」を皆さんに知っていただくため、全国各地で広報キャンペーンを展開しています。

その第一弾として、4月27日に京セラドーム大阪で開催され、約3万6千人が来場した「第10回関西かがしまファンデー記念大会」において、PRブースを設け、たくさんの方々にPR活動を行いました。

かがしま国文祭を機に、全国各地から多くの方々に本県へおいで



いただき、県内43すべての市町村で繰り広げられる100を超える多彩な事業を楽しんでいただくとともに、歴史、食、温泉など「本物。鹿児島県」の魅力を満喫していただきたいと考えています。

今後も、全国各地での観光物産展などでのPRをはじめ、PRキャパバン隊による九州各県への広報など、かがしま国文祭をますますPRしていく予定です。来年の開催に向け、県民の皆さんで盛り上げていきましょう!

●「黒潮文化交流の祭典」~種子島 黒潮が生んだ交流の証し~ 《西之表市》西之表市実行委員会

熊本地区では、中種子町の「CGアートフェスティバル」や南種子町の「種子島歌い継がれた民謡と踊りの祭典」、屋久島町の「全国木工芸の祭典」などのイベントを開催。今回は西之表市の「黒潮文化交流の祭典」に着目しました。

西之表市では、2本の事業を行います。その一つが今一度、種子島のすばらしさを再認識していただくための「黒潮文化交流の祭典」です。

黒潮の流れに乗って種子島にもたらされた「火縄銃」と「甘藷(サツマイモ)」の伝来は、今もなお島民の心のよりどころとして語り継がれており、この二つにスポットをあて、鉄砲隊による火縄銃試射演技「鉄砲絵巻」の再現、来場者を対象にした甲冑装束記念撮影会や武将行列、甘藷の歴史を紹介する特別展示などを行います。

もう一つは、「華道の祭典in種子島」です。種子島は明治初期に「華道池坊」の普及に尽力した「羽生慎翁」ゆかりの地であり、市街地を「いけばな」一色とし、伝統文化である「華道」に親んでもらうとともに、いけばなを活用した本市ならではのおもてなしにより、華道の魅力を多くの方に知っていただきたいと思えます。

西之表市で伝統文化の奥深さにひたり、黒潮が育んだ生活文化の豊かさに包まれてみませんか。多くの方のご来場をお待ちしています。



鉄砲隊による火縄銃試射演技



西之表市実行委員会のみなさん

ひっとべ!
かがしま国文祭
黒潮文化交流の祭典
種子島 黒潮が生んだ交流の証し

【お問い合わせ】
県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099(286)2863

【募集中】第30回国民文化祭・かがしま2015応援事業

国文祭を盛り上げるための応援団になりませんか? 国文祭の開催趣旨に賛同する団体などが実施するイベントで「かがしま国文祭」をPRしてください。

※事業の募集内容、広報の内容、特典など詳細については国民文化祭のホームページでご確認いただくか、国民文化祭室までお問い合わせください。

